

地域密着通所介護事業所「ソラノイロ芝公園」第2回運営推進会議議事録（2022年度下半期）

開催日時 2023年6月19日

場所 ソラノイロ芝公園

参加者 ご利用者：YN様 ご家族：N様（Y様夫） 地域住民代表：MT様 当該サービスに係る
識者：YT様 ソラノイロ管理者

会義資料を以下に記載します。

- ① 施設概要 ※パンフレットをご覧ください。
- ② ソラノイロ芝公園の日常業務※九つの特徴をご覧ください。
- ③ 通所されている利用者の方々について（ご年齢、男女比、平均介護度） ※別紙①
- ④ 職員の体制 ※別紙②
- ⑤ イベント ※別紙③
- ⑥ 事故やヒヤリハットの状況および今後の改善策 ※別紙④
- ⑦ 防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況 ※別紙⑤
- ⑧ 地域との連携 ※別紙⑥
- ⑨ 虐待防止委員会について
- ⑩ 感染症対策委員会について

別紙① 通所されている利用者様の方々について（ご年齢、男女比、平均介護度）（詳細は別紙）

別紙② 職員の体制 社員 4 名 パート 7 名（詳細は別紙）

別紙③ イベント

NHK 放送博物館へ外出



お台場ガスの科学館へ外出



東京海洋大学へ外出



神宮外苑イチョウ並木見学



華屋与兵衛で食事会



ソーメンレク



別紙④ ヒヤリハット、事故の状況および今後の改善策

内容	改善策
リハビリバーの出っ張りに引っ掛かり転倒してしまった。	リハビリバーと椅子の間隔が狭く引っ掛かりやすかった。間隔を広めにとるようにする。
ベット休憩をしていて、トイレ行こうと起き上がろうとした時にベットから転げ落ちた。	ベツトルームがカーテンで仕切られていて外からまったく見えない状態だった。少し開けておくようにする。
外出レクの帰り、利用者様がトイレに行きたくなり、スタッフが車ら離れトイレを探しているうちに利用者様が車を離れてしまった。	数分後、利用者様は見つかったが、外出時も利用できるトイレの場所をあらかじめ確認しておく。利用者様と行動を共にする。
椅子から立ち上がり時よろめいて転倒しそうになった。	ご本人が立ち上がろうか座ったままでいようか
点眼をサポートするようにご家族より連絡があったが忘れそうになった。	朝の情報共有がスタッフ間でされていなかった。必ず伝えるようにする。
介助・見守りが必要な方がベットから起き上がりフロアまで一人で歩いてきた。	他のことに集中してその方の動作に気づけなかった。全体を見れるような視野を広げる意識を持ち、実戦できるように訓練する。
玄関入ってすぐの所でつまずいて転びそうになった。	わずかに坂になっているので、注意するように声掛けする。
入浴前の血圧を未測定のまま入浴を実施してしまった。	必ず入浴担当者が血圧を確認してから入浴を実施する。
帰宅時送迎車に乗り込む際に転倒転倒しそうになった。	雨が降っていたため片手で傘をさして介助していたが利用者様がバランスを崩した時に片手では安全に介助できなかった。傘は違うスタッフに持ってもらい両手で介助する。
浴槽から立ち上がる時に足が少し滑って転びそうになった。	立ち上がり時、脚が必要な程度曲がっていなかった。焦らず曲げてもらってから立ち上がってもらおう。
浴槽から立ち上がる時に足が少し滑って転びそうになった。	立ち上がり時、脚が必要な程度曲がっていなかった。焦らず曲げてもらってから立ち上がってもらおう。
送迎車から利用者様が降りようとした時にバランスを崩し転倒しそうになった。	自立した方でも降車時は介助見守りを強める必要がある。
外出レク時に利用者様が段差につまずき転倒しそうになった。	外出時は段差があるところがあるので十分注意する。

別紙⑤ 防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況（2022年度）

2022年10月14日

参加者：スタッフ3名

ご利用者4名

計7名

内容：

①防災・避難訓練の映像を見る。

②防災・避難訓練の大切さを議論

質疑応答

・消火器はどれくらい役に立つのか？→時間は一般的なもので15秒ぐらいしか消化できない。ほんの初期消火ぐらいしか役に立たない

・何が大切か？→落ち着いて、速やかに逃げるのが大事。

③避難訓練実施

まとめ

とにかく落ち着いてパニックにならないようにしなければいけない。あらかじめ①通報②初期対応③利用者様誘導などスタッフに役割を分担して常日頃からの心がけが必要と思われる。今後も繰り返し・定期的に行う。

以上

別紙⑥ 地域との連携

① 港区の社会福祉協議会内のボランティア担当の部署と連携しボランティアを探している。



② 「東京タワー学会」(東京タワー周辺の介護事業所、病院などに努めているスタッフが地域に貢献できるように専門的知識などを共有する場) 主催の学習会への参加や学習会の共済。



質疑応答

管理者より報告

1、ソラノイロ芝公園の理念

パンフレットを見ていただきますとお解りになると思います。高齢者の方々の人生は空の色のように高く透き通っています。そのような人生の経験を教える伝える場としてソラノイロ芝公園が存在します。また教え伝える時間を過ごすことにより心身機能の向上を目指します。生き生きと生きることが健康で長生きできる一番のことです。

2、日常的な活動

10の特徴を見て下さい。

午前中は「会話を楽しむレクリエーション」がメインです。昭和20年代や30年代のことを思い出しながら、その時代のことを振り返り、言葉を発し、傾聴し、言葉のキャッチボールをします。また、全国の郷土料理をクイズ形式で考えたり、江戸時代のなぞなぞ遊びを再現することにより時代を感じてもらいます。

午後からは、趣味の時間で「創作活動」「麻雀」「運動レク」「料理レク」「外出レク」など多彩なメニューを用意しています。

3、利用者様の男女別構成は、男性比が27%です。最近男性の割合が少なく、女性比が増してきました。平均年齢は85歳ぐらいで、介護度は1.8です。これは当初から予想していた値と大差ありません。

4、スタッフの構成は別表の通りです。退職者については最近機能訓練士の入れ替えがあった以外は、最初の使用期間内での退職者だけでした。

5、ヒヤリハット・事故報告ですが、これの多くは転倒に関してのものです。幸い大きな事故には至っていませんが、ヒヤリとする場面は相変わらず多い状況ですので、気を抜かずに必要な介助・見守りをする必要があります。

6、イベントは、コロナ過の中で制限される部分のありましたが、ご本人様のご希望に答える形で外出レクをメインに行えたのではないのでしょうか。

7、避難訓練は、2022年度は、これもコロナ過の影響で一度しか開催できませんでしたが2023年6月に、芝消防署の署員様を招いて、自営消防訓練を行うことができました。

8、地域との関わりでは、港区社協のボランティア担当部署と密な関係を取ることで、かなりのボランティアを受け入れに至っています。また、地域の医療・介護専門職の勉強会の場を作る場としての「東京タワー学会」への参加をしています。

MT様：芝地区の民生員をしています。日頃、独居の高齢者様宅を回っています。地域には様々な問題がありますが、高齢化も大きな一つです。この地域はマンションが多いですが、思ったよりも高齢化しています。具体的に言うと芝3丁目だけで150件ぐらいの独居老人の方がいます。介護サービスを使ったら良いのではないかと思う方がいます。そのような方に広く呼び掛けるためにおおきな看板を立てた

りしてソラノイロ芝公園をアピールしたらよいのではないですか。近くに住んでいてもデイサービスがあるとは知らない方が多いです。

A 管理者：ビラなどをマンションの集合ポストに入れたりしています。ボランティアさんも近くの方に来ていただきたいと思っています。その他のアピールも検討します。

YT 様：ソラノイロ芝公園で機能訓練指導員として働いています。月曜日の午前中に勤務しています。毎回楽しく仕事をしています。ご利用者様も集中して体を動かされています。とても活気がある時間を過ごしています。機能訓練の時間の後半は、個別機能訓練をしているのですが、今後人数が増えるかどうかのような形で行って行けばよいか課題です。

A 管理者：人数が増えると個別機能訓練の時間が取れなくなるでしょう。個別機能訓練がなくても全体で出来る、利用者様が満足できるプログラムが必要になってきます。

YN 様：利用していてとても楽しいです。他の方やスタッフも皆さん良い方で、とても良い関係を築いています。レクリエーションやお手伝いもやりがいがあってとても良いです。今後もできるだけ長くソラノイロ芝公園に通って行きたいと思っています。

TN 様：私ども夫婦 2 人で助け合って生活しています。私は他のデイサービスに週 1 で通っていますが、ソラノイロ芝公園は家内がとてもお世話になっています。家内も物忘れがだんだんひどくなっています。介護サービスを利用して安全に生活していければと考えています。

A 管理者妻で豊かな在宅生活が今後も営めるように、微力ではありますが、お力になればと考えています。

管理者：⑧⑨に関しては、資料をお配りします。この場で、虐待防止委員会、感染症対策委員会の設置を決定し、今後定期的に開催していくことを約束します。

まとめ：ソラノイロ芝公園も開所してはや 1 年が過ぎました。利用者様も徐々に人数も増え、最近、定数も 10 名から 18 名に増やしたところです。土曜日もオープンいたしました。今後、日曜日もオープンする予定です。そのような中で大切なことは利用者様に沿ったサービスを展開していくことだと考えています。また、ご家族、ケアマネジャー、地域の皆様から必要なサービスで無ければいけないと考えています。その為にもこのような皆様で運営を考える機会が必要です。今後も定期的に開催予定ですので皆様方のお力をお貸し下さい。